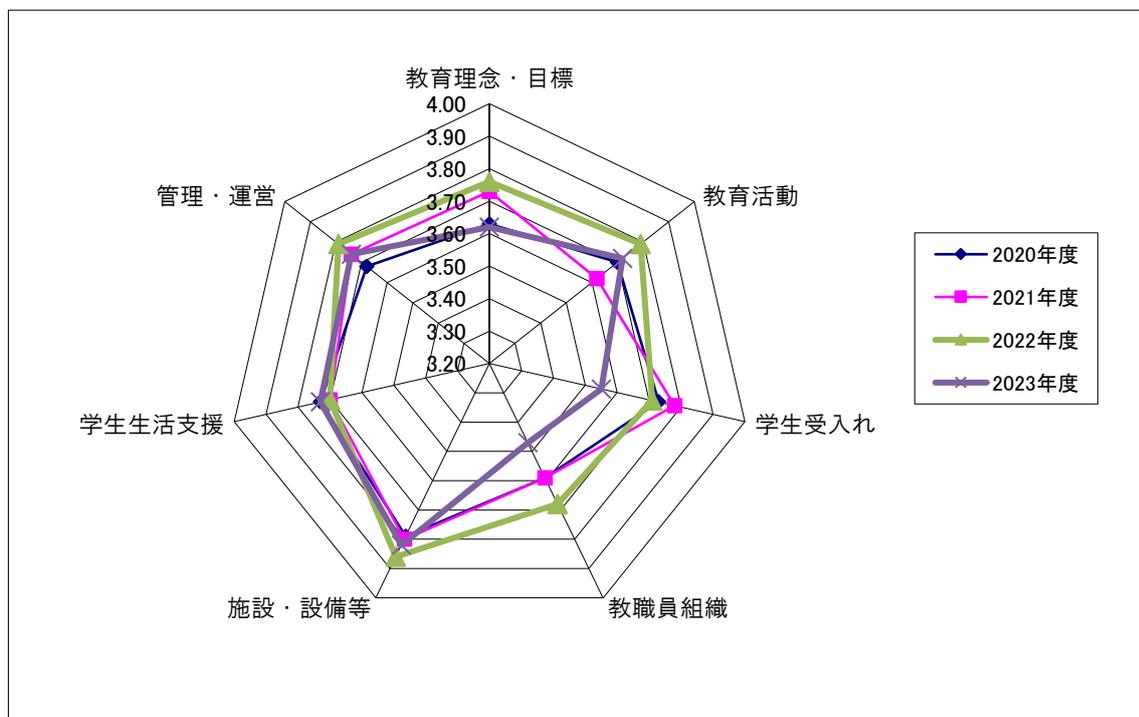


2023年度 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 自己点検・自己評価

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育理念・目標	3.63	3.73	3.76	3.62
教育活動	3.70	3.62	3.79	3.72
学生受入れ	3.73	3.78	3.71	3.55
教職員組織	3.59	3.59	3.68	3.47
施設・設備等	3.79	3.80	3.86	3.82
学生生活支援	3.73	3.70	3.70	3.73
管理・運営	3.68	3.74	3.79	3.74
平均(4点満点)	3.69	3.71	3.76	3.66



総合評価

2023年度の本校自己点検・自己評価の結果を過去3年と比較したところ、いずれも微増、微減ではあるものの最高点となったのは7項目中で1項目、最低点を示したのが2項目あり、全体平均点は最低点となった。最高点は「学生生活支援」の項目で、最低点は「学生受け入れ」と「教職員組織」である。「学生受け入れ」の小項目3-6の「志願者状況、定員充足率はどうか」は2年連続で2点台であり、これは過去において定員割れをしていなかったPT学科が、2023年、24年度入学生において2年連続の定員割れを起こし、3学科共に定員割れとなったことが最大の要因であろう。また、「教職員組織」の小項目4-6の「職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか」では、指定規則は守られているものの、学生支援の質と量を保つには不十分であるということが低評価の要因と考えられる。

一方、「教育活動」の小項目2-9の「目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか」は2年連続で3.8以上となっており、非常勤講師を含めた学習支援体制が強化されていることを示している。

リハ校全学科の共通課題である学生募集(定員確保)、休退学者の減少、高い国試合格率達成の3大事項のうち、後者2項目は2023年度において良好な結果となったが、この2項目は互いに相反する結果に繋がる可能性もあるため、今後の動向に十分注意を払うことが重要である。

今回の自己点検・評価の結果を参考に、特に低い評価となった項目が改善できるよう積極的に学校運営を行う必要がある。